

【参考】 前年度の監督指導結果との比較

前年度の監督指導結果との比較は以下のとおり。

		令和2年度	令和元年度
監督指導 実施事業 場	監督実施事業場	517	540
	うち、労働基準法などの法令違反あり	324 (62.7%)	441 (81.7%)
主な 違反内容	1 違法な時間外労働があったもの	151 (29.2%)	264 (48.9%)
	うち、時間外・休日労働の実績が最も長い労働者の時間 数が1か月当たり80時間を超えるもの	37 <24.5%>	70 <26.5%>
	1か月当たり100時間を超えるもの	24 <15.9%>	38 <14.4%>
	1か月当たり150時間を超えるもの	2 <1.3%>	3 <1.1%>
	1か月当たり200時間を超えるもの	0 <0.0%>	0 <0.0%>
	2 賃金不払残業があったもの	28 (5.4%)	36 (6.7%)
	3 過重労働による健康障害防止措置が未実施のもの	72 (13.9%)	127 (23.5%)
主な健康 障害防止 に関する 指導の状 況	1 過重労働による健康障害防止措置が不十分なため改善を 指導したもの	161 (31.1%)	231 (42.8%)
	うち、時間外・休日労働を月80時間以内に削減するよ う指導したもの	64 <39.8%>	115 <49.8%>
	2 労働時間の把握方法が不適正なため指導したもの	60 (11.6%)	119 (22.0%)